

第9回 全国模擬授業大会 (主催・開倫塾)

各賞受賞者 (敬称略)	最優秀賞 高田晋輔 (野田塾)	優秀賞 船木政子 (アガトス)	努力賞 岡部正行 (開倫塾)	田中潤 (洛西進学教室)	石田朋彦 (トーゼミ)
【個人の部】	最優秀賞	優秀賞	努力賞	最優秀賞	優秀賞
【団体の部】	最優秀賞	優秀賞	努力賞	最優秀賞	優秀賞
	アガトス創学舎	野田塾	トーゼミ		



▲受賞者の記念撮影

社から、英検、漢検、数検については各協会から参加した担当者が審査、講評。その中で、NIEの授業を聞いた上毛新聞社の子安悟総局長は、「NIEの授業は新聞活用の意義を熱く語っていて素晴らしい。ただ新聞記事は完璧ではないし、取材力と表現力に左右されることも付け加えて欲しい」と講評した。

プレイベントの第二企画はパネルディスカッション。「プロ教師への道―教え方日本一を目指して―」と題して、過去の全国模擬授業大会の「団体戦」で優勝された各塾代表者を迎え、プロ教師の育成についてうかがうというもの。コーディネーターは開倫塾・林明夫塾長、参加者は、野田塾・小川英範塾長、(株)れんせい・今野裕二統括本部長、(株)アガトス創学舎・柳善一代表の3名。各塾の自己紹介があり、授業力向上のため自塾でどのような研修を実施しているか、その具体的な実例を、多くの塾関係者、教育関係者らの参加者の前で公開した。

秋の全国模擬授業大会は、野田塾が主催で10月26日(日)に開催される。

第9回 全国模擬授業大会 開催
「チヨーク1本で教育改革を」

去る5月24日から26日、恒例となった「全国模擬授業大会」(主催／開倫塾・林明夫塾長、本大会開催場所は足利工業大学附属高等学校)が栃木県足利市で開催された。

第9回を数える今大会では、大会前日にプレイベントとして初の試みとなる、英検、漢検、数検、そしてNIEの模擬授業大会、また「教え方日本一」というテーマでのシンポジウムも開催された。本大会の参加者は回を重ねるごとに増え、参加団体58、参加者総勢約400名(うち授業者エントリーは58名)であった。

また最終日には「世界5Sサミット」コンパクト版「足利流5S視察会」も行われた。5Sとは、「整理」「清掃」「整頓」「清潔」「躰」のことで、開倫塾では全教室で推進している。



▲「世界5Sサミット」コンパクト版
「足利流5S視察会」

プレイベントでは各検定試験の模擬授業とパネルディスカッションも

プレイベントは足利市研修センターで開催され、冒頭、主催者代表として開倫塾の林塾長は次のように挨拶した。



▲挨拶をする開倫塾・林明夫 塾長

「初の試みですが、各検定の模擬授業大会を企画しました。また授業力では全国トップの塾長にお集まりいただき、ディスカッションもしていただこうと思っています。デミングは一番大切なことは職場の人が喜んで働くことだと思います。学習に置き換えると眼を輝かせること。先生の眼が輝かないと生

徒の眼が輝きません。これから3日間、模擬授業大会を中心に勉強させていただきます。」



▲多忙の中来賓として出席した茂木敏充 経済産業大臣

また多忙の中、茂木敏充経済産業大臣も来賓として出席。氏は「OECDパリ会議などでは海外の途上国の人材育成、医療が最重要課題です。我が国も経済、教育改革を掲げているし、日本の大学が世界のトップ大学に入ることを目指しています。本日、明日の全国模擬授業大会が有意義な大会になることを願っています」と祝辞を述べた。

検定の模擬授業は各塾で選ばれた講師が「NIE」2名「英検」2名「漢検」「数検」各1名)授業を行った。NIEについては各新聞